



環境保全米通信



水害を乗り越え
環境保全米の収穫風景
(黒川郡大郷町の
大郷グリーンファーマーズさん)



【もくじ】

1. 「tbc夏まつり2022」3年ぶりに開催! ~JA宮城中央会が「環境保全米」をPR~
2. 2022年有機米の現状 宮城県は有機面積が大きい?有機米にはリスクがある?
3. 環境保全米関係イベントについて

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

みやぎの環境保全米』とは

環境保全米県民会議が取り組む『みやぎの環境保全米』は国連のSDGs(持続可能な開発目標)の実践そのものです。

「環境保全米」の取り組みは1992年のリオデジャネイロの地球サミットをきっかけに始まっています!

アンケート大募集

↓

環境保全米 QRコード

1 「tbc夏まつり2022」3年ぶりに開催!

～JA宮城中央会が「環境保全米」をPR～

3年ぶりのリアル開催となった「tbc夏まつり2022」（東北放送主催）。今年は長いコロナ禍の中で制約されてきた“人との出会い”“共に楽しむ夏”を取り戻して欲しいとの思いを込め、「meet again」をサブタイトルに7月23日、24日の2日間勾当台公園・市民広場（仙台市青葉区）で開催されました。

JA宮城中央会は、このイベントに参加し、「みやぎの環境保全米」をPR。「ふだん食べている銘柄は?」「環境保全米を知っていましたか?」などのアンケートに答えてもらい、「環境保全米ひとめぼれ2kg」などが当たる抽選会を実施しました。

「みやぎライシーレディ」の安藤玲乃さんも参加

し、来場者に環境保全米PRパンフレットを手渡ししながら、「環境保全米は、化学肥料や農薬を慣行米の半分以下に減らして栽培したお米です。県内の多くの小中学校の学校給食に提供しています。」などと説明しました。

また、持続可能な開発目標（SDGs）の達成に貢献していることも出展ブース内にパネルを設置して紹介。

抽選会で当選した来場者は、「環境保全米のことは知らなかった。ラッキーです。」と喜んでいました。

2日間の来場者数は89,000人、アンケートは約1,000人の方にご回答頂きました。



みやぎライシーレディが環境保全米をPR



イベントブース



抽選会はガラポン



抽選会に並ぶ長蛇の列

2022年有機米の現状

○宮城県は有機面積が大きい？

意外に思われるかもしれませんが、宮城県の田んぼの有機JASほ場面積は、2020年から秋田県を抜いて全国1位になり、2021年も引き続き全国1位でした。さらに、2017年度から2020年度にかけての有機JAS面積の伸び率で、宮城県の水田は61ha増えて全国1位の伸び率でした。

どれくらいの面積かと言えば、全国の有機JASの田んぼの面積は2021年で3,016ha、うち宮城県の面積は364haですから全国の1割強ということになります。ちなみに全国の有機JASの田んぼ3,016haは、山手線の内側の面積約6,300haの半分程度となります。

これほど多くの面積があるにもかかわらず、宮城県内で生産された有機（オーガニック）米を目にすることはあまり多くありません。それは有機米の多くが生産者から直接消費者への販売や、オーガニック専門業者による販売や、店舗を持たない生協での販売であって、一般の消費者が目にするような地元のスーパーや生協の店頭に並ぶことがほとんどないからです。

有機米は生産量が少ないことと、価格が通常の米より3割から4割高いこともあって、一般には手に入りにくいのが現実です。それでも栽培面積は増え続けています。

○有機米栽培にはリスクがある？

下の2枚の写真は宮城県内の有機JASの田んぼが、今年7月の集中豪雨で冠水した時の画像と、それから1ヶ月半が経過した後の田んぼの様子です。稲は水をかぶりましたが、冠水後2日くらいで水が引いたため生育はかなり持ち直したように見えます。その後の天候に恵まれれば、米の減収は小さくて済むかもしれません。

しかし、この田んぼには別の問題があります。たとえ米が収穫できても、それを当初計画していた「有機米」とし



ては出荷できないということです。有機農産物は、日本農林規格の基準に沿った有機ほ場で、基準に沿って栽培することが条件です。ところがこの田んぼには2日間、何が入っているかわからない水が流れ込んでしまいました。有機ほ場と認められるためには、禁止された農薬や資材の使用はもちろん、風で飛んでくる「飛来」や洪水による「流入」も禁止されています。この田んぼは冠水したことで、他の田んぼで使われた農薬などが流れ込んだと見なされ、今年の米は有機米ではなくなってしまいました。

○有機米を支援するために

有機栽培は生産量が2割から3割少なくなる。販売先を自分で探す必要がある。認証料金などの経費がかかる。自然災害で有機から外れるリスクがある。そんな環境でも宮城県の有機米栽培は伸びています。環境への負荷が少なく、国連が求めるSDGsの持続可能な開発目標に沿った生産方式が有機栽培だからです。

農水省も「みどりの食料システム戦略」を打ち出し、有機ほ場面積を増やし、有機農産物の取扱量も増やすための政策を進めています。せっかく全国1位の伸び率と面積となった宮城県の有機JASの田んぼと米、これを支援することは消費者のSDGs活動と言えるのかもしれない。



有限会社大郷グリーンファーマーズの JAS 有機米ほ場

みやぎの環境保全米新米発表会開催 ～今年もおいしいお米ができました～

日時：2022年10月5日(水) PM12:00~PM1:00

場所：JAビル宮城11階大会議室

内容：作柄報告、仙台市立栗生小学校の食育紹介、環境保全米新米おにぎりの紹介、楽天野球団・ベガルタ仙台・仙台89ers・マイナビ仙台レディースへの新米贈呈など



「全国オーガニック給食フォーラム」

日時：2022年10月26日(水) PM2:00~

会場：中野ZERO大ホール(オンライン参加可能)

主催：全国学校給食フォーラム実行委員会

内容：韓国・フランスの有機給食事例報告、リレートークなど。千葉県いすみ市太田市長はじめ全国20以上の首長が参加

[申込はコチラ▶▶](#)



みやぎの環境保全米テレビCM放送決定!

東北放送テレビ番組提供CM放送として、大崎市立志田小学校6年生の学校給食シーンや、田園風景、稲刈り風景を以下の通りCM放送します。



□番組名：「ウォッチン!みやぎ」(毎週月曜日枠)

□放送時間：AM7:35~8:00の間

□放送期間：2022年10月3日(月)~12月26日(月)

※放送スケジュールの都合上、放送日が変更になる場合があります。

東北放送ラジオで 環境保全米の授業を公開放送します!

仙台市立栗生小学校5年生の「お米づくり」(環境保全米をラジオで聞いている人にPRしよう!)の授業がラジオで放送!

□番組名：ラジオな気分フライデー2

「みんなあつまれ!学校ラジオ」

□放送日：2022年10月14日・28日、

11月11日・25日すべて金曜日(全4回)

□放送時間：PM12:40頃~12:50頃

※生放送のため若干変動あり。

※放送スケジュールの都合上、放送日が変更になる場合があります。

ご感想をお寄せください

アンケートにご協力いただいた方の中から抽選で、環境保全米2キログラムを10名様に

Q1 興味を持った記事は?その理由も。

Q2 環境保全米への疑問や取り上げてほしいテーマ等。

【アンケート記入例】

●応募方法

次の項目をご記入の上、FAX・メール・郵送で応募先までお送りください。
・アンケートの回答 ・お名前 ・年齢 ・ご住所 ・電話(FAX)番号
いただいた回答および個人情報は当法人にて厳重に管理しプレゼントの発送、または各種情報の提供、イベントの案内以外の目的では使用いたしません。

●応募締切

締切は**2022年11月30日(水) 消印有効**

※抽選結果は発送をもってかえさせていただきます。

●応募先

NPO法人環境保全米ネットワーク事務局

〒980-0011 宮城県仙台市青葉区上杉1-16-3 JAビル別館5F

TEL:022-261-7348 FAX:022-261-7488

E-mail:okome@epfnetwork.org

URL:http://www.epfnetwork.org/

●アンケートの回答

Q1 _____

Q2 _____

●名前 保全米 太郎

●年齢 40才

●住所

〒980-0011

宮城県仙台市青葉区

上杉1-16-3

●電話番号

022-261-7348